

# 年金問題を 解決する為に

## 政府・与党は年金記録問題に全力で取り組んでいます

今回の年金記録問題の最も大きな問題は、社会保険庁のやることなすことが全く信用できない、ということだと思います。ですから政府・与党は、社会保険庁を解体し、新しい組織を作る法案を成立させました。新しい組織になったからと言って信用できるのか、と思う皆さんもいるかと思いますが。新しい組織に関しては厚生労働大臣が責任を持って管理監督します。更に現在の社会保険庁の今後の仕事を、総務省に設置する「年金業務・社会保険庁監理委員会（仮称）」が厳しく監視します。

もうひとつの大きな問題は、本当に年金は全額支払われるのか、受け取ることができるのか、ということです。そのためにも、政府・与党は年金時効撤廃特例法案を成立させました。これにより、時効によって年金を受け取ることができない方がいなくなります。またご自分の年金を納めた記録、「年金記録」が正しいのか不安をお持ちの皆さんもたくさんいると思います。今回の「年金記録」の問題は、平成9年1月に導入された「基礎年金番号」制度に端を発します。基礎年金番号制度自体は、

（裏面に続きます）

良い制度で、これによってバラバラだった「年金記録」をひとつにまとめることが簡単になりました。ところが、この基礎年金番号制度を導入する以前のバラバラの年金記録の数があまりに膨大で、これの整理統合が終わっていないことが現在の年金記録の問題なのです。

そもそも何で年金記録がバラバラなのかというと、国民年金や厚生年金、共済年金といったいわゆる公的年金自体がバラバラに管理されていたからです。厚生年金は戦中の昭和17年に生まれ、国民年金は戦後の昭和36年に誕生しました。生まれがバラバラだったので、管理もバラバラ、割り当てる番号もバラバラでした。誰がいつから国民年金に加入してどれだけ保険料を納めたか、いつから厚生年金に加入してどれだけ保険料を納めたかということは、個々の年金記録はしっかり管理されていましたが、それをまとめて管理する仕組みにはなっていませんでした。それらをまとめるために基礎年金番号を導入したのですが、それ以前に存在した個々の年金記録の数があまりに膨大だったために現在のような問題が生じてしまいました。

今回政府が取る年金対策は、まずそのバラバラの年金記録、残り5000万件を大急ぎで調べて、バラバラでないまとまったひとつの年金記録することが大きな柱です。さらにこれまでの年金加入履歴を全ての皆さんにお送りして、皆さんご自身にご自分の年金記録を確認してもらうことも極めて大きな柱です。

皆さんの年金は政府・与党が責任を持って守ります！

**おこのぎ八郎さんを支援する会**

横浜市神奈川区反町1-7-1

TEL:045(323)6000 FAX:045(323)2974

E-mail: g00833@shugiin.go.jp <http://www.hachirou.com>